

その人らしい暮らしを支える／医療と介護で地域に根差す／医療法人社団 慶勝会の広報誌

赤門だより

vol. 64



特集

研修事業 ～介護を担う人材を育成する～

Akamon Healthcare Group

研修事業 〈介護を担う人材を育成する〉

社会全体から
必要とされている介護職

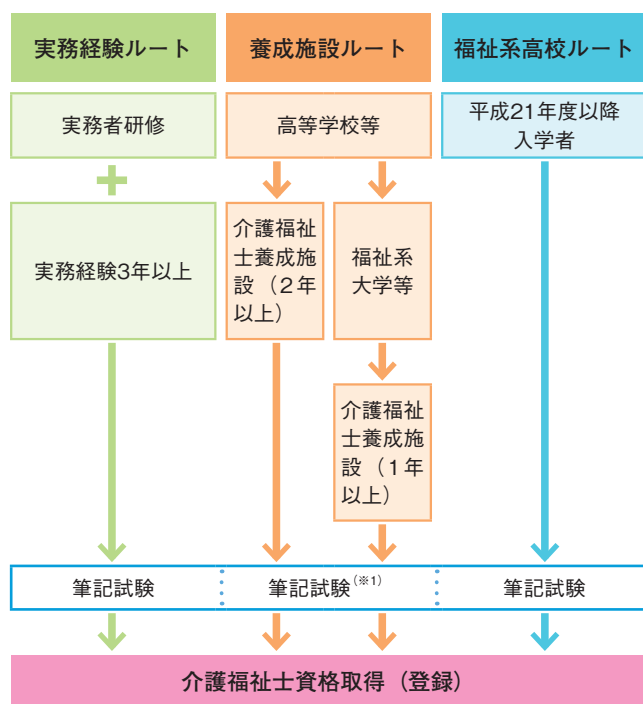
厚生労働省（社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室）第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数では2019年度の介護職員数約211万人から団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年度には約243万人（約32万人増）の介護人材が必要とされています。

介護の中核を担う専門家

介護職には、高度な知識・技能があると認定する国家資格「介護福祉士」（受験資格・登録には以下図1参照）、基本的な知識や技能に加え医療的ケアを学んでいる「実務者研修」修了者、身体介護サービスを行うための介護の基礎知識を学んだ「初任者研修」修了者等があり、支援が必要な方へのサービス提供には高度な知識、スキル等が必要とされます。

介護に興味がある、人の役に立ちたい、やりがいのある仕事をし

図1 《介護福祉士受験資格 取得ルート》



（※1）養成施設ルートの国家試験については2017年度から介護福祉士試験の受験資格となりました。2026年度末までに卒業する方は卒業後5年間は介護福祉士の資格を有します。当該5年間のうちに国家試験に合格するか、介護現場に5年間従事することで5年経過後も介護福祉士としての資格を継続することができます。

たいなどの想いから、性別や年齢問わず未経験で介護職に就く方もおられます。

当法人では、複雑化・多様化・高度化するご本人やご家族のニーズにお応えできる職務の専門性と人の役に立ちたいとの想いを両立できる環境を整備するために、介護福祉士実務者養成研修事業、喀痰吸引等研修事業を開講しております（介護職員初任者研修事業は

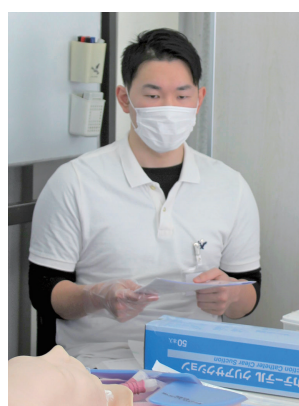
2022年再開予定。

今号では、当法人で開講している第6回（2021年度）介護福祉士実務者養成研修の受講生にどのような想いをもって研修に臨まれたか伺いましたのでご紹介します。

受講生の声

㈱ケアサービス・まきの実グループホーム広瀬ガーデン

三上駿介さん



介護職員としての経験が3年を超え、国家資格である介護福祉士の資格取得について考えるようになりました。

介護福祉士試験を受験する為には実務者研修の修了が必要であることを知り、「少し大変そうだな」と思いました。そんな頃、私は利用者様一人ひとりのペースや想いに適した支援の難しさを感じてきており、実務者研修を受講することによって得る知識や技能が解決の糸口になり、更には自身のスキルアップにも繋がると考え「チャレンジしてみよう」と受講を決めました。

実際に研修が始まると講師の説明はわかりやすく、実践的な演習も充実していてやりがいを感じました。また、オンライン研修での授業に加え、スクーリングでも会場や受講生への感染対策が徹底されているため安心して受講する事が出来ました。

研修期間は仕事との両立が辛いとを感じる時もありましたが、共に学ぶ受講生や講師のちよつとした気遣いの言葉、管理者・同僚の理解、協力を得やすい職場環境に恵まれたことがとても助けになりました。また、研修で得た知識を日常の業務に活用できる場面が多くあり、今までと違った視点で利用者様を観察することで、関わり方の幅が広がったと実感できました。

今は来年1月の介護福祉士国家試験に向け勉強中です。資格取得後はより一層専門職としての自覚を持って仕事をし、後輩の育成や現場のチームの中で生かしていきたいです。

終わりに

今後ますます需要が高まる介護職において、研修修了や資格取得は職務の専門性を高め、ご利用者に対して、より良質なサービス提供に繋がるとともに介護職の待遇改善や介護業務の幅を広げていくことも期待できます。

引き続き必要とされる介護サービス・介護職像を探索していきながら、質の高い研修事業を提供するよう取り組んで参ります。

医療法人社団慶勝会 研修事業

研修事業	介護職員 初任者研修	介護福祉士 実務者養成研修	喀痰吸引等研修
開設 年度	2013年度 (2016年～2021年休講)	2014年度	2017年度
定員	24名	24名	10名
研修 内容	ホームヘルパー2級研修の廃止に伴い、2013年4月から始まった介護の資格です。介護職員の仕事は「身体介護」「生活援助」の2つに分けられ、初任者研修を取得することで「身体介護」サービスの業務を行うことができます。	幅広い利用者に対する基本的な介護提供能力の習得と医療的ケアに関する知識及び技能の習得を目的としています。2017年1月の介護福祉士国家試験の受験資格として3年以上の実務経験に加えて実務者研修の修了が義務付けられました。	修了することで医師の指示や看護師との連携のもと「たんの吸引（口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部）」「経管栄養（胃ろう腸ろう、経鼻経管栄養）」が実地できるよう介護職員等を養成する研修です。
修了 生徒数	71名 (2013年～2015年)	77名 (2020年現在)	60名 (2020年現在)



演習では感染対策を徹底して

赤門整形外科内科 鈴木朋樹選手来訪

10月2日東京パラリンピック大会ユニバーサルリレーで銅メダルを獲得された鈴木朋樹選手（館山市出身）が赤門整形外科内科に来訪されました。鈴木選手は生後8か月で交通事故に遭い脊髄を損傷、両親（母は赤門整形外科内科看護師）の勧めで車いす陸上競技を始めました。

職員との歓談の中で鈴木選手は「次の大会*1に向け調整をしている」と話されており、常に挑戦を続ける姿は当院職員にとって大きな刺激となりました。

鈴木選手のように「目標をしっかりと定め、日々努力する」姿勢を持ち続けることでより信頼されるサービスが提供できるよう、職員一同取り組んで参ります。

*1 11月21日に開かれた第40回記念大分国際車いすマラソンに出場。日本新記録で2位の偉業を達成しました。



次の大会に向け気合十分！

赤門整形外科内科 ご利用案内 (2021年12月時点)

● 診療時間	月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00 土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
● リハビリテーション	月～金 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00
● 外来受付時間	月～金 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00
● 休診日	日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)



最新の外来予定はこちらの
QRコードからご確認いただけます。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・被爆者一般疾病医療機関・公害・
難病指定医・身体障害者福祉法指定医・難病指定医療機関

医療法人社団 慶勝会 事業所一覧

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼 1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田 110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条 2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼 1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里 237-3
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

館山市認知症初期集中支援チームおれんじ

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-29-5301 FAX. 0470-29-5302

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼 1599 番地 1、1 階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

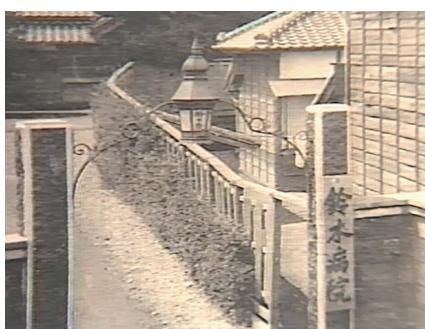
はじめに



私たち医療法人社団 慶勝会は、明治21年（1888年）産婦人科「赤門鈴木医院」の開設を礎として、時代ごとに地域のニーズにお応えすることを使命とし、これまで取り組んでまいりました。これからもこの使命を全うし続けてゆくためにも、絶えず邁進してまいります。

赤門の由来

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り（庇）を許されました。この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。



この一枚



2021年11月13日一般社団法人館山青年会議所11月例会 青少年事業にて地域の小学生と共に作った花火を打ち上げました。長引くコロナ禍で行動に制限が多い中、夜空を彩るサプライズ花火に元気づけられました。

医療法人社団 慶勝会広報誌「赤門だより」通巻64号
発行・責任：「赤門だより」編集発行室
千葉県館山市沼1599番地1、1階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301
ホームページ：http://www.keishokai.or.jp
発行日：2021年12月15日（年3回）
編集・印刷・写真：管理部 総合企画